

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 四国中央市立川之江北中学校 】

1 実践テーマ	①・II・III・IV・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	1年生・3クラス(125名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育)
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピック教育を通して、障がい者に対する理解を深めるとともに、差別や偏見のない社会を実現しようとする態度を養う。
5 取組内容	<p>(1) 事前学習 ①保健体育の授業でのオリパラに関する授業</p> <p>(2) 講演会 ①ロンドンパラリンピック陸上男子100m代表選手 井上聡氏 ②車いすレーサー体験</p>





(3) 事後指導

①事前学習や講演の内容の振り返り

- 6 主な成果
- 事前学習として、1年生を対象に、保健の授業の中で、「スポーツへの多様な関わり方」について学習をした。スポーツは競技や種目を行うだけでなく、「見る」「支える」「調べる」など、多様な関わり方があるということを学習した。
 その中で、オリンピックやパラリンピックにも関心をもてるように、オリンピックの歴史やパラスポーツについて授業を行った。人々を結び付けるスポーツの可能性について、関心や興味をもつことができた。
 - パラリンピックに出場した井上選手から、車いすレースとの出会いや多くの人に支えられてきたことに対する感謝の気持ち等、貴重なお話を聞くことができたこと、さらに、車いすレーサー体験をすることにより、興味・関心をもつ生徒が増えた。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルスポーツを取り上げ、取り組んでいる。 ○ 講演会を、保護者や地域に発信した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前学習の中で、調べ学習を実施し、パラスポーツやパラリンピックについて、知識をもった状態で、講演会を実施することで、さらに興味や関心が得られる。 ○ ユニバーサルスポーツ関連の大会への参加を計画していく。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>オリンピック・パラリンピックの調べ学習をさらに発展させ、全校での発表会を実施していきたい。また、今年はオリンピックが日本で開催されるので、自分自身が何かができるのかということを考えさせていきたい。</p>